



ラベンダーの摘み取り体験を行います！

6/20(土)、21(日)、27(土)、28(日)、7/4(土)、5(日)開催!



平成二十六年七月五日撮影

謹啓 短夜の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

国営越後丘陵公園のラベンダー園にて、**ラベンダーの摘み取り体験**を開催いたします。甘いフローラルの香りをぜひお持ち帰りください。

●**3種類(グロッソ・プロバンスブルー・ポコング)のラベンダーが摘み取れます!**

●**温かい日が続き開花時期が早まったため、1週早く摘み取り体験を開催します。**

皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹言

【 お問合せ先 】

〒940-2082 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又 1950-1
国営越後丘陵公園 越後公園管理センター 企画運営グループ 担当:松田・鈴木・山野・小林
電話 0258-47-8001 FAX 0258-47-8002
携帯 090-7847-5001 公園 HP <http://echigo-park.jp/>

●ラベンダー摘みとり体験

ラベンダー園のラベンダーを摘み取ってお持ち帰りいただけます。当公園の甘いフローラルな香りをお家でも感じてください。

日時: 6月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)

7月4日(土)、5日(日) 10:00~15:30

※開花状況により早期終了する場合があります。

場所: ラベンダー園

参加費: 50本 100円、1株 300円

※掘り取ってのお持ち帰りはできません。



ラベンダースティックの作り方

ラベンダースティックはフレッシュラベンダーの茎をリボンで纏ってまとめたものです。コツをつかめば簡単に作れます。

【材料】

- 生のラベンダー (奇数本)
- リボン
- 糸
- ホッチキス

※おまけ
ラベンダースティックは「ラベンダーバンドル」とも言います。バンドルとは「束」や「つづみ」という意味です。かわいい贈りの品です。

- ① 9本、11本などの奇数の生のラベンダーの花をそろえて束ねて、花の下を糸でしばる。
- ② 束ねた花の下にリボンを巻きつけ、ホッチキスで止める。
- ③ 束ねた花の下を爪で軽く押さえるようにして、ホックと折れないようにして、糸を花の方に曲げる。
- ④ 茎をだて糸に、リボンをよこ糸にして、茎が1本ずつリボンと交互になるよう編んでいく。
- ⑤ リボンは、全体にきっちり通してもいいし、中間を少しあけて、中の花が見えるようにしてもいいでしょう。
- ⑥ 花がかくれるまで織ったら、リボンを茎に巻きつけ、形よく結んで仕上げます。最後に茎の長さをきれいに切りそろえます。
- ⑦ 1~2週間、風通しの良いところにまっすぐに吊るし、乾かします。

部屋にざざたり、引き出しの中や車の中に置いて香りを楽しんでください。数年間、ほのかな香りが持続します。香りがつなくなったと感じたら、リボンで編んだ部分を軽くもんでください。

摘み取ったラベンダーで
香りのスティックを作ってみよう!!

●ラベンダー

ラベンダーはシソ科の植物で、ハーブの中でも最も知られている植物です。

古代ギリシャ時代(紀元前4世紀)には既に文献上に登場しているほど歴史は古く、主に薬用植物として利用されてきました。

現在の「ラベンダー」という名前は、中世のローマで人々が公衆浴場にラベンダーを入れたり、衣類に虫がつかないように洗濯の際に香りをつけたりするのに利用していたことから、ラテン語の「Lavo(洗う)」やイタリア語の「Lavanda(洗い物)」などが語源とされています。

出典: 園芸クラブ ラベンダー (鷹西宏幸 著 誠文同新光社 発行)

●国営越後丘陵公園の3品種のラベンダー(平成26年6月27日撮影)

当公園のラベンダー園では、3品種(グロッソ、プロバンスブルー、ポゴング)のラベンダーをお楽しみいただけます。一般にラベンダーは高温多湿に弱い性質がありますが、本公園では特に耐暑性に強いラバンディン系を植栽しています。



グロッソ



プロバンスブルー



ポゴング